

日本知能情報フアジィ学会 第 28 回総会議事録

日時：2017 年 6 月 3 日（土） 13:00-14:00

場所：関西大学梅田キャンパス 7 階 701 室 （大阪市北区鶴野町 1 番 5 号）

参加者数： 34 名

1. 会長挨拶 第 14 期理事会の総括 （萩原会長）

総括については、各担当理事が説明を行った。（報告）

2. 本総会での決議方法について [第 14 期]（彌富庶務担当理事）

会長を除く会員の挙手により、過半数の賛同を得ることにより決議を行う方法を、本総会で採択することを決定した。（26, 27 回総会と同様の方法）

3. 規定の改定について [第 14 期]（堀口事業担当理事）

堀口事業担当理事が、学会賞規定(第 5 条)の変更について、その根拠とともに報告を行った。

4. 平成 28 年度 報告

4.1 平成 28 年度 事業報告 [第 14 期] （堀口事業担当理事）

4.2 平成 28 年度 事業報告に対する監査報告 [第 14 期]（徳丸事業担当監事）

堀口事業担当理事より事業報告、徳丸事業担当監事より監査報告があり、
全会一致（会長を除く 33 名）で報告内容を承認した。

4.3 平成 28 年度 決算報告 [第 14 期]（金久保会計担当理事）

4.4 平成 28 年度 決算報告に対する監査報告 [第 14 期]（井上会計担当監事）

金久保会計担当理事より決算報告、井上会計担当監事より監査報告があり、
全会一致（会長を除く 33 名）で報告内容を承認した。

5. 会長、副会長、理事、監事の選出（古田理事等推薦委員会委員長）

古田委員長より説明があり、全会一致（新会長を除く 33 名）で以下の次期（第 15 期）役員体制を承認した。

会 長	林 勲	（関西大学）
副 会 長	乾口 雅弘	（大阪大学）
副 会 長	藤吉 誠	（日立造船株式会社）
理 事	（総務） 広兼 道幸	（関西大学）
理 事	（会誌） 櫻井 茂明	（株式会社東芝）
理 事	（事業・研究推進） 本多 克宏	（大阪府立大学）

理事	(財務・会計)	堀尾 恵一	(九州工業大学)
理事	(規程・選奨)	井田 正明	(大学改革支援・学位授与機構)
理事	(大会デザイン)	橋山 智訓	(電気通信大学)
理事	(出版・他学会連携)	工藤 卓	(関西学院大学)
理事	(広報)	能島 裕介	(大阪府立大学)
理事	(特任・電子化データベース)	中島 智晴	(大阪府立大学)
理事	(特任・資料アーカイブス)	前田陽一郎	(立命館大学)
監事	(財務・会計)	金久保正明	(静岡理工科大学)
監事	(事業)	堀口由貴男	(京都大学)

この決議により、これより後の項目を 15 期理事会が運営する。

6. 平成 29 年度 計画

6.1 平成 29 年度 事業計画案 [第 15 期] (本多事業・研究推進担当理事)

本多事業・研究推進担当理事より、平成 29 年度事業計画案について説明があり、全会一致（会長を除く 33 名）で事業計画案を承認した。

6.2 平成 29 年度 予算案 [第 15 期] (堀尾財務・会計担当理事)

堀尾財務・会計担当理事が、平成 29 年度予算案について説明があった。

質疑の後、全会一致（会長を除く 33 名）で予算案を承認した。

【質疑】(敬称略)

(Q) 収支差額が-2,761,955 と赤字で予算案を作成することはよいのか。

(A) 昨年度も収支差額は赤字で予算案を作成しており、了承されている。

隔年開催の SCIS/ISIS の開催年は収益が大きく、ない年は例年赤字の予算案を作成している。

2013 年度度より、この差をなくすための基金を構築し年度間の収益差をなくす仕組みも備えている。

(Q) 単年度赤字が表にでることについての可否も含めて、次年度に向けて検討してほしい。

7. その他

特になし